

奥多摩・長沢谷出合から大雲取谷・小雲取谷遡行

K 藤

H高さん、K藤と所沢ハイキングクラブ2名、計4名で、奥多摩・長沢谷出合から大雲取谷・小雲取谷へ行ってきた。(7/31前夜泊く8/2)

8/1、八丁橋から林道を進む。2時間弱、そろそろ林道歩きも飽きてきたところで、永沢谷への下降点へ到着する。

長沢谷の絶好のキャンプサイトにタープを設営し、沢にビールや焼酎を浸して、いざ出発！

しばらく登山道を歩くが、崩壊地に差し掛かったところで、ほどなく大雲取谷へ入溪、いよいよ私の初めての沢登りの始まりです。

沢登りは、私が普段やっていない尾根歩きとぜんぜん違いま

した。

自然の原始度？が、ぜんぜん違います。

沢自体もそうですし、アプローチや最後の尾根への取り付きも、道はあつてなきようなもの、まさに自然そのものとの一体化するって言うか、取っ組み合いをするって言うか、そんな感じでした。

また、頻繁なルーフアイや渡渉、へつり、滝の直登等、

人間の五体と五感を総動員して、登って行く充実感と達成感は半端じゃなかったです。

大雲取谷本谷を離れ、小雲取谷へ分け入り、最後の登山道へ抜け出すあたりで、雷鳴がとどろき、やがて本格的な雷

雨となり、雹まで降ってきました。

登山道を、すたこらさつさと急ぎに急ぎ、大雲取谷の吊橋まで戻ってくると、まっ茶色な奔流が渦を巻き、白波を立てていました。

さらに、テン場まで戻ってみると、案の定、ビール等アルコール類は、はるか下流、白丸ダムまで流されてしまっているようでした。

焚き火、食事、タープ泊？と、みなさん童心に返って、楽しいひと時を過ごして、疲れた体が深い眠りへといざなってくれました。

翌朝は、快晴！

所沢ハイキングクラブの1名をテントキーパーに残し、昨日入溪した崩壊地まで、大雲取谷を歩き登り、2日間で、奥多摩・長沢谷出合から大雲取谷・小雲取谷の完全遡行が完成

しました。

H高さん、K金さん、M田さん、大変ありがとうございました。

おかげで、初心者の方も、充実した沢登りを堪能できました！

